

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1994年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理事業は、国庫（1,900,000円）、県費（950,000円）の補助金の交付を受け、平成6年4月4日から平成7年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会		
担当課	生涯学習課文化財保護係		
教 育 長	小林茂吉（6.9.30まで） 高橋好次郎（6.10.1～）		
生涯学習課長	石井忠夫	文化財保護係	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
文化財保護係長	岡田真一	発掘調査担当者	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久

4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

執 筆：高崎直成（第Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ章）、鍋島直久（第Ⅲ、Ⅳ章）、土本匡（第Ⅴ章石器）	土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子
土器復元：中田藤子	実 測：(有)文化財COM、斎藤尽志、高崎直成、高橋けい子、土本匡、鍋島直久
トレース：小林登喜江、須藤さち子	図版作成：石垣ゆき子、丹治つや子
遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久	遺物写真：高崎直成

また、本書の作成にあたり日本考古学協会の今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。
浅野晴樹、荒井幹夫、今井堯、内田賢司、加藤秀之、神木繁嘉、駒井和久、桜井信枝、
佐藤正志、笹森健一、島田一郎、鈴木加津子、鈴木仁子、中島宏、塚田政子、原口雅樹、
早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、三上七五郎、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
(敬称略) 埼玉県教育局指導部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、
亀久保特定土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会。
6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

会沢 泉、秋本太郎、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、
大井美智子、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、上岡福蔵、神木光治、川部栄子、
河野俊郎、小林こずい、小山エミ子、斎藤尽志、酒井 昭、佐久間ひろ子、佐々木定男、
鮫貝有子、菅原 正、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、高久 彩、高橋明美、
千見寺泰臣、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、野岡由紀子、
野上吉樹、野沢松代、橋本弓子、塙 和男、林きぬ子、比嘉洋子、黛 佳代子、三村美代子、
宮田 守、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代。

〈整理事業参加者〉(敬称略)

石垣ゆき子、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、富岡康子、中田藤子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1)縮尺は原則として	遺構平面図・遺物出土状況図	1:60
炉等の詳細図	土器実測図	土器拓影図・石器実測図
1:30	1:4	1:3
- (2)遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。
- (3)遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ(cm)を示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
5. 本報告の出土品・記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

2 1994年度 埋蔵文化財調査一覧

No.	遺 跡・地 点	所 在 地	面積(m ²)	原 因	調査期間	調 査 結 果
1	西台遺跡第2地点	大井897-1、2	6,149	遊 技 場 建 設	4/4～4/12	試掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 集石 土坑
2	本村遺跡第35地点	大井357-1	452	共同住宅建設	4/4～4/12	試掘調査 遺構なし
3	西ノ原遺跡第69地点	苗間106	1,821	店 舗 建 設	4/8～4/27	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 屋外炉 土坑
4	西ノ原遺跡第70地点	苗間136	551	店 舗 建 設	5/9～5/17	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 伏甕 土坑 ピ ット
5	東台遺跡第22地点	大井651-6	145.53	店 舗 建 設	5/10～5/11	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 土坑
6	小田久保遺跡第3地点	大井1214-3	330	個人住宅建設	6/7	試掘調査 遺構なし
7	西ノ原遺跡第71地点	苗間112	309	個人住宅建設	6/20～7/5	試掘調査 時期不明 おとし穴
8	東台遺跡第23地点	大井649-12、13	285.91	個人住宅建設	6/23～6/27	試掘調査 縄文時代 住居跡
9	東台遺跡第24地点	大井634-20	58.49	個人住宅建設	7/6	試掘調査 縄文時代 集石 土坑
10	鶴ヶ舞遺跡第3地点	鶴ヶ舞1-69-1	141	駐 車 場 造 成	7/10	試掘調査 遺構なし
11	本村遺跡第36地点	大井101-9-10	890	共同住宅建設	7/28～8/4	大井町遺跡調査会で発掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 土坑 中近世 井戸 溝 土坑 柵列
12	亀居遺跡第38地点	鶴ヶ岡2-1-1他	3,162.14	店 舗 建 設	8/22～8/30	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 集石 土坑 おとし穴 近世 根切溝
13	亀居遺跡第39地点	亀久保1008-5	342	駐 車 場 造 成	8/26～8/29	試掘調査 縄文時代 炉穴 土坑
14	本村遺跡第37地点	大井251	596	事 務 所 建 設	8/31～9/2	試掘調査 遺構なし
15	本村遺跡第38地点	大井253	264.53	個人住宅建設	8/30～9/7	試掘調査 中近世 溝
16	浄禅寺跡遺跡第8地点	苗間357-1	615	宅 地 分 譲	9/20～9/27	試掘調査 時期不明 おとし穴 近世 根切溝
17	浄禅寺跡遺跡第9地点	苗間353	1,266	農 地 改 良	10/18	試掘調査 時期不明 土坑 溝 焼土
18	浄禅寺跡遺跡第10地点	苗間356-1	999.09	宅 地 分 譲	10/31～11/2	大井町遺跡調査会で発掘調査 近世 土壌墓 一石経埋納土坑 溝
19	東台遺跡第25地点	大井648-13、14	296.04	個人住宅建設	10/22～12/16	本調査 縄文中～後期 住居跡 土坑 袋状土壌 ピット 6 委保記第5-5066号
20	西ノ原遺跡第72地点	苗間112-109	321.47	個人住宅建設	11/2～11/28	本調査 縄文中期 住居跡 土坑 近世 溝 6 委保記第5-6583号
21	本村遺跡第39地点	大井124-1	805	共同住宅建設	11/9～11/16	試掘調査 遺構なし
22	本村遺跡第40地点	大井321-1	131	宅 地 分 譲	11/22	試掘調査 遺構なし
23	本村遺跡第41地点	大井326	413	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
24	本村遺跡第42地点	大井325	201	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
25	浄禅寺跡遺跡第11地点	苗間352-1他	572	道 路 築 造	1/9～2/3	試掘調査 時期不明 湧水口 焼 土
26	本村遺跡第43地点	大井153-2、3	704	宅 地 分 譲	1/12～1/19	大井町遺跡調査会で発掘調査 中近世 井戸 土坑 溝 柵列
27	江川東遺跡第2地点	東久保1-162-34	190.90	個人住宅建設	1/20～2/6	本調査 近世 土坑 ピット 7 委保記第5-856号
28	本村遺跡第44地点	大井287-1	1,198.68	共同住宅建設	2/17～2/28	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 土坑 おとし穴 中近世 井戸 土坑 道路跡 ピット
29	神明後遺跡第3地点	苗間309-12-13	200.03	宅 地 分 譲	3/24～3/29	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡埋甕 土坑 ピット 近世 溝
30	西ノ原遺跡第73地点	苗間92-1	274	個人住宅建設	3/27～3/29	試掘調査 遺構なし
	調査面積合計		23,543.81			

(9)－9 本村遺跡第43地点

調査期間 1995,1,12～1,19 面積 704m² 調査原因 宅地分譲

調査方法 2 m幅のトレンチを4本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 縄文時代（土坑1基）、中世～近世（井戸1基、土坑3基、溝1条、柵列）

調査所見 原因者負担による本調査を1995年2月23日から3月29日まで大井町遺跡調査会が実施。

(9)－10 本村遺跡第44地点

調査期間 1995,2,17～2,28 面積 1,198m² 調査原因 共同住宅建設

調査方法 2 m幅のトレンチを7本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 縄文時代（土坑3基、おとし穴1基）、中世～近世（井戸1基、土坑1基、ピット）

調査所見 原因者負担による本調査を1995年4月10日から5月25日まで大井町遺跡調査会が実施。

(10) 東台遺跡

砂川堀の右岸、急崖上に立地する町内屈指の縄文集落。標高24～26m。対岸の低地部にある本村遺跡とは7 m近い比高差がある。遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期～後期、奈良・平安時代。

(10)－1 東台遺跡第22地点

調査期間 1994,5,10～5,11 面積 145m² 調査原因 店舗建設

調査方法 2 m幅のトレンチを2本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 縄文時代中期（住居跡6軒、土坑1基）

調査所見 原因者負担による本調査を1994年5月30日から7月30日にかけて大井町遺跡調査会が実



第16図 試掘調査位置図及び調査区域図(13)

施。調査区は環状部分の住居密集部分にあたる。

(10)－2 東台遺跡第23地点

調査期間 1994,6,23～6,27 面積 285m² 調査原因 個人住宅建設

調査方法 調査区内を半分ずつバック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 縄文時代（住居跡2軒）

調査所見 個人住宅の建替えに伴う確認調査であるが、確認面が現地表面より80cm下にあり、確認した住居跡も建設予定地の範囲外であったため本調査はせず、将来開発する場合には発掘調査を実施する旨の確約書を提出してもらった。

【出土遺物】 大半が縄文土器破片である。1～5は阿玉台Ⅱ式土器。1は口縁部破片で、竹管による平行押し引き文。2は胴部への爪形文。3は隆帯上が押圧される。4は隆帯脇に雑な角押文。5は隆帯脇に平行沈線。6～12は勝坂式土器。6は口縁部破片で幅広角押文。7は隆帯脇を幅広角押文で押さえる。8は隆帯脇に連続爪形文と三角押文。6～8は勝坂1。9・10は連続爪形文と波状沈線で勝坂2。11・12は隆帯脇を単沈線で押さえるもので勝坂3。12は区画内にLR縄文が施文され、把手が付くが欠けている。

13～26は加曾利E式土器。13・14は口縁部文様帯が隆帯と沈線で区画される加曾利EⅡ式。15・16は磨消縄文の口縁部で、RLの縄文部分は逆U地型に沈線で囲われる加曾利EⅢ式。17は無節縄文。18・19はLR縄文。20は粗いLR縄文に沈線の文様が入る。21はLR縄文に沈線の懸垂文、22・23はRLの磨消縄文で加曾利EⅡ式。24～26は幅広のLR磨消縄文で加曾利EⅢかⅣ式。25・26は区画がカーブする。27は撚糸文。28は沈線の懸垂。29～33は条線地文で、29は口縁部。30は半截竹管で連弧文が描かれる。31は沈線の懸垂。34は波状口縁で下に列点文が巡る。35～37は無文の口縁部。38・39は微隆起線文。40は推定底径9.5cmの底部破片。

(10)－3 東台遺跡第24地点

調査期間 1994,7,6 面積 58m² 調査原因 個人住宅建設

調査方法 2m幅のトレンチを2本設定し、人力で表土除去した後、精査。

調査結果 縄文時代（集石、土坑）、時期不明遺構3基。

調査所見 個人住宅の建替えに伴う確認調査であるが、物理的に調査が不可能であったため、確認調査のみで終了した。東隣の第18地点では奈良時代の製鉄炉、炭焼窯など製鉄関連遺構を検出しており、時期不明の遺構も同時期の遺構の可能性がある。

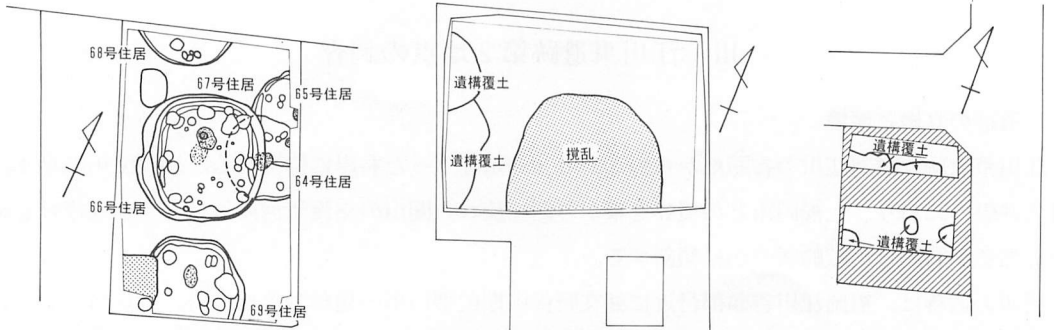
(10)－4 東台遺跡第25地点

調査期間 1994,10,31～12,16 面積 296m² 調査原因 個人住宅建設

調査方法 バック・ホウで調査区内を半分ずつ表土除去して調査。

調査結果 縄文時代中～後期（住居跡6軒、袋状土坑1基、土坑11基、ピット群）

調査所見 大井町教育委員会で本調査を実施。後述。



東台遺跡第22地点遺構配置図(1/400)

東台遺跡第23地点調査区域図(1/400)

第24地点調査区域図(1/400)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10m

東台遺跡第23地点出土遺物(1/3)

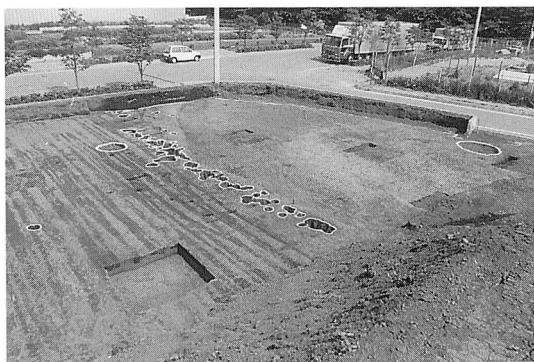


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第17図 試掘調査位置図及び調査区域図(14)



本村遺跡第44地点 試掘



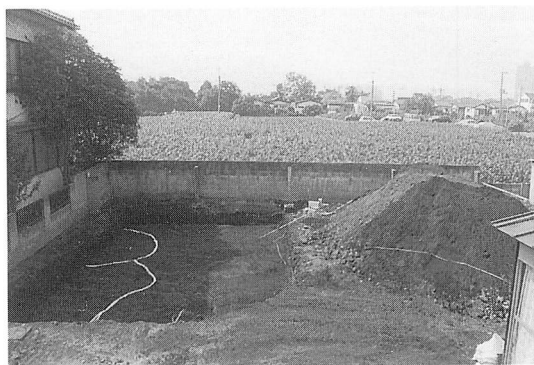
本村遺跡第44地点 本調査



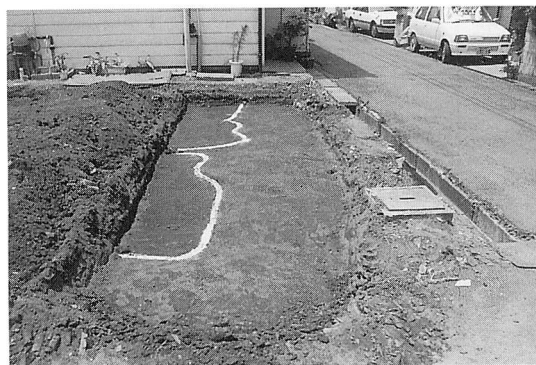
東台遺跡第22地点 プラン



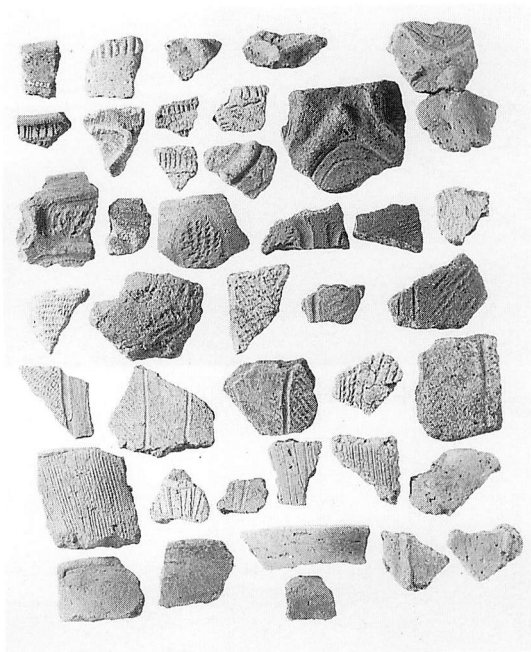
東台遺跡第22地点 全景



東台遺跡第23地点



東台遺跡第24地点



東台遺跡第23地点 出土遺物